

## 平成 26 年度第 1 回技術認定委員会議事録

技術認定委員会が下記の通り行われ、以下の 2 点が話し合われた。

日時：平成 26 年 4 月 17 日（木曜日）12：00～13：00

場所：国立京都国際会館 5 階「555-B」

出席者：長谷川 徹（担当理事）、石井 賢、戸川 大輔、渡辺 雅彦

欠席者：吉田 宗人（委員長）、西良 浩一、高橋 寛、田中 信弘、豊根 知明

### Ballon Kyphoplasty (BKP) の現状報告と今後の課題

2013/9/30 の時点において、トレーニング受講者 962 名、実施症例数 7069 例、インシデント発生率 6.35%、健康被害発生率 4.02%となっており、この数字は決して低い数字ではない。幸いインシデントレベル 5 の報告はないが、この手技の持つ危険性を示すデータが提示されている。

今後、日本脊椎・脊髄病学会として BKP の教育普及体制に対する基本的指針を提示する必要性が挙げられ、本委員会にて検討していくこととした。

骨粗鬆症性椎体骨折研究会との協調を図るため、戸川大輔委員に本委員会を代表としてアドバイザー参加をしていただくこととした。

### 新手術手技に対する対応

PED, XLIF, OLIF などの手技普及に対して他の委員会とも連携して対応することが確認された。